



昭和村

議会だより

第 157 号

令和元年 5 月22日発行



平成31年 4 月29日 喰丸小開所一周年記念イベント

平成31年第 1 回定例会

3 月 8 日から12日まで開催し、村長から提出された平成31年度当初予算案などを中心に審議し、全議案を可決しました。

一般質問は8人の議員がおこない、村政を質しました。



今後も期待に応えられる議会を目指して活動してまいりますので、皆様のご意見をお聞かせください。

目 次

- 村政を問う 2～ 9
- 平成 3 1 年度当初予算が成立
..... 1 0～1 1
- 議案審議の内容 1 2～1 3
- 議会活動の報告・お知らせ..... 1 4

発行／昭和村議会

編集／議会だより編集委員会

〒968-0103

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652

☎0241-57-2198 FAX0241-57-3044

村政を問う

一般質問



青木 秀元 議員

Q 高齢化が進むなかで区長文書の広報活動について問う

問 区長文書の広報活動について現状認識を伺う。

村長 各地域においてそれぞれ対応は異なると思うが、大変ご苦労されていると思う。特に、冬期間の回覧文書については、隣の家へも届けられないなど、連絡員会議でも話題となっており、早期対応を求められているのが現状であると認識をしている。

問 ICTを活用しての情報発信、配信システム構築は人口減少、少子高齢化の進むなかで有効な手段と考えるが村長のお考えを伺う。

村長 平成22年度に整備をした光ケーブルを活用した防災情報受信設備の選考に当たり、画像伝達システムなども検討をしたが様々な問題があり、導入に至らなかった。現在では情報機器の操作も簡単になるなど、有効な手

段であると考えられるが、運用に当たっては、回線利用料金等の維持管理経費が大きな課題であるとして、認識をしている。

問 回覧板も戸走りも重要な情報連絡であり、安否確認も兼ねている。

今後どのように改善されるのか伺いたい。

村長 今後の改善対応については、連絡員会議において、現在の回覧や戸走り文書について実施方法などの見直しの協議を進め、どのような対策が有効なのか、検討していきたい。

Q 野生きのこの出荷制限解除に向けての取組について問う

問 本村において、出

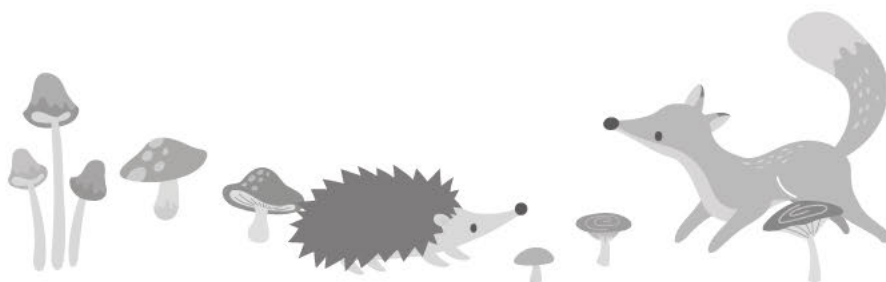
荷制限解除となる野生キノコは、本年度あるのか伺う。

村長 現在、福島県において、林野庁と出荷制限解除に向けた事前協議を行っているとのことであり、現段階ではいつごろ、どの品目が出荷制限解除になるか明らかになっていない。

問 8年間のデータを見ますと、ブナハリタケ、ムキタケ、ナメコ、クリタケ、ナラタケ、シャカシメジ、ホンシメジ、マツタケなど有望な解除可能な品目と考えています。新年度の取組について伺う。

村長 基本的には、これまでと同様に村民の皆様や県が委託する事業者とともに、検体採

取を行う予定です。早期に出荷制限が解除されるよう、村民の皆様や関係機関と連携して取り組んでいく。



村政を問う

一般質問



馬場 栄三 議員

Q 水道事業法改正、行政の対応は

問 昨年12月の臨時国会で、水道事業の基盤強化を目的に、水道法が改正されたが、改正の内容について伺う。

村長 1つ目は、国や自治体などの水道事業者に対し、広域化連携の推進や水道の基盤の強化に関する責務が規定された。

2つ目は、水道事業者に対して施設の維持・修繕・台帳整備を義務づけ、計画的な更新の実施や、収支の見通しの作成など努力規

定が設けられた。

3つ目は、水道施設の運営権を民間事業者に設定できるコンセッション方式を導入する仕組みが明記された。

4つ目は、指定給水装置工事事業者制度の改善として、更新制度が創設された。

問 コンセッション方式により水道事業が民間委託された場合に、修繕・補修は誰が行い、費用は誰が負担するのか。

村長 水道施設が破損した場合は、水道事業者である村が修繕を行うこととしており、その費用は水道使用料金のほか地方債や国・県の交付金、上下水道維持管理基金などを活用し行う。

水道施設の運営権を民間事業者に設定した場合は、基本的には施設の維持・修繕・災害時等の対応は、民間事業者が行う。

問 村内水道の地下埋設物の設置年度、耐用年数などの台帳整備をしているか伺う。

村長 水道法の一部改正において、水道事業者は水道施設台帳を作成し、水道施設の計画的な更新に努める規定となり、新年度から2年程度かけて水道施設台帳を電子データ化し整備する。

問 将来の水道事業運営の考え方について伺う。

村長 収支面の見直しも検討しながら、国内外の事例も参考に慎重に対応する。

Q 公共施設や振興公社、衛生管理指導監督は

問 学校給食センター、保育所、老人ホーム、すみれ荘、しらかば荘、芋麻庵などにおいて衛生管理や社員教育、指導をされているか伺う。

村長 各施設において食材の検収や食品保管の記録、保菌検査、調理器具の消毒などの衛生管理をしている。社員教育は、県などが主催する研修会を受講している。

問 万が一事故が発生した場合の対応のマニュアルは作成しているのか伺う。

村長 マニュアルの作成がない施設もあるが研修会で指導を受けた対応を取っていく。

問 利用者が食中毒で入院や休職した場合の入院費や休職補償について伺う。

村長 施設が提供した給食が起因となる食中毒については各事業所が加入している共済保険等の対象になるものと考えている。



村政を問う

一般質問



栗城 徳雄 議員

Q 平成31年度予算編成と重点事業について問う

問 地方交付税は当初予算段階で昨年度と比較し、三千万円の減額となり、今後も厳しい状態が続くものと思われる。

新年度の予算編成は村長が思うようにできたのか。
。重点的に取り組む事業は何か伺う。

村長 歳入の多くを地方交付税等に依存する本村において、非常に厳しい財政運営を余儀なくされている。第5

次昭和村振興計画後期計画や、昭和村まち・ひと・しごと総合戦略の数値目標の具現化に向けて、各種事業を行っていく。

平成30年は、昭和村が会津地方で唯一、転入者が転出者を上回る人口の社会増となり、今まで長年継続してきた事業の成果のあらわれと考えている。今後、も有効な事業は継続・強化し、喰丸小一周年記念事業や本村の若いカスミソウ農家に関心

を持っていたり、事業、「日本で最も美しい村」連合加盟に向けた取り組みなどを実施していく。

Q 喰丸小学校外構整備等による交流人口拡大対策について問う

問 喰丸小は木造校舎とイチヨウ、それを囲む田園風景などに魅力を感じて、多くの人が訪れている。駐車場を含む外構整備を進めるには、この風景が損な

われないように配慮すべきです。喰丸地区の聞き取り調査では、正面の水田を駐車場として舗装することに賛成が1名、他の方は全員が反対でした。住民の意見を尊重すべきです。喰丸小学校外構整備工事業は、具体的に

どのように整備する考えか伺う。

村長 新年度の設計に当たっては、さまざまな意見を伺い、建物の外観との調和や、景観にできるだけ配慮しながら事業を進めてまいります。

問 「日本で最も美しい村」連合への加盟による効果が期待される中、村内には空き家が目立ち、人口減少で集落の存続を危ぶむ声も聞かれるなど、不安を感じている村民も多い。日本で最も美しい村として村民が自信を持てる村の施策、加盟への効果として挙げている交流人口の拡大に結びつくための施策について伺う。

村長 「日本で最も美しい村」連合への加盟

については、からむし織や、カスミソウ、昔懐かしい農山村風景などを登録地域資源として、本年1月に加盟申請した。

村の情報発信に努めながら、先行加盟している県内外の自治体や全国各地の企業・団体が入会している連合のサポーター会員との交流などを通じて、交流人口の拡大を図っていく。



村政を問う

一般質問

問 福島県農業総合センターで開発された宿根カスミソウの移動式太陽光蓄電装置で、開花時期を調整して収穫の分散につなげ、安定生産や栽培面積の拡大が見込めると言われています。開花が早まれば、農業者の所得増大につながるのではないかと思います。この装置は、村の補助事業で、農業者支援事業補助率75%の補助事業に該当しないのか伺う。

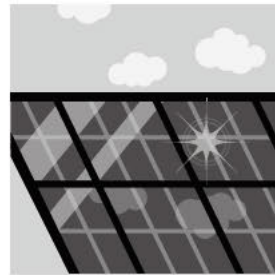
Q カスミソウ栽培太陽光蓄電装置補助について



菅家 敏章 議員

村長 太陽光移動蓄電装置については、宿根カスミソウの電照栽培を可能にするものとして実用的な成果が明らかになった装置である。新年度、福島県の補助事業である実り豊かな福島産地整備事業の補助対象となるため、事業採択に向け作業を進めている。また、村の補助事業である昭和村担い手支援対策事業の中の攻めの農業者支援事業についても事業の対象となる。

Q 喰丸小駐車場整備及び空き家について



新たな農業生産システムは、農業者の所得向上につながることから、設備導入には積極的に推進と支援をしていきたい。

問 喰丸小駐車場整備は、校舎の前にある田んぼを購入して埋め立てて駐車場にするのは、これは景観がよくならないと思いますので反対です。あの田んぼは埋めないで、例えば池にして、学校の児童やそのほかの小学校

の子供たちの学習になるのではないかと思うが、村長の考えを伺う。

村長 喰丸小の外構整備計画については、さまざまなご意見を伺い、建物の外観との調和、あるいは景観にできるだけ配慮しながら進めてまいりたい。

問 空き家は、喰丸小の国道を挟んで前にある空き家で、いつ倒壊するかわかりません。景観が非常に悪いので、早く所有者と話をしてお策を考えなくてはならないと思うが、村長の考えを伺う。

村長 お質しの住宅は、以前は借家として活用されており、空き家状態になってから十数年間経過しているものと思われる。相続者には、毎年、

春の固定資産税のお知らせ通知にあわせて、空き家の適正管理について啓発を行っている。なお、屋根のトタンがはがれるなど、一部危険な状態が見受けられるので、改めて雪解け後に現況写真を添えて適正な管理を行っていただくよう指導していく。



村政を問う

一般質問



栗城 敏郎 議員

Q 昭和村功労者の振起について

問 善行表彰について、各行政区長から推薦をしていただく取り組みとなりましたが、こうした取り組みをほとんどの住民が知らない状況です。更に、推薦制度の趣旨を理解していただけるよう努めていただきたい。

村長 功労表彰、善行表彰の表彰の推薦概要を、今後、村の広報紙等でも広く周知を図っていききたい。

問 昨年12月、中学校の三年間で体験する「花育」が文部科学大臣賞を受賞いたしました。今後もうこうした学校の活動などについては、大いに振起し、柔軟な対応をしていただきたい。

村長 このたび昭和中学校がキャリア教育優良校として、花育の取り組みで文部科学大臣表彰を受賞した。今後もしこのような機会があれば同様に取組んでいく。

なお、新年度以降、児童・生徒を対象とする表彰制度についても検討をしていきたい。

Q からむし織糸づくり事業について

問 からむしの後継者の人材を育成していくための糸づくり事業の処遇等の考え方や、今後のからむし事業の展望などを伺う。

村長 からむし糸づくり研修事業は、からむしを手績みできる人材、特に細番手の糸をつくる高い技術力の習得と、績み手の後継者の育成を図ることを目的に取り組んでいる。今後も各種研修事業を通じて、からむしに携わる人材の確保を目指し、からむしの維持発展につなげていく。

Q 子育て支援（一時保育）について

問 家庭的な環境と愛情の中で保育する家庭的保育事業、ぴよぴよルームは、保育ママの継続が難しい状況と伺っている。今後の家庭的保育事業についての対応を伺う。

村長 家庭的保育事業については平成31年度に新たな家庭的保育所の募集を行い、保育事業者としての研修を受講し、平成32年度からの開所に向けた準備を進めていきたい。

問 家庭で保育をしている方が、一時的に保育所に子供を預けたいと思ったとき、通常の保育とは別枠で子供を受け入れる一時保育を検討してはどうか。

村長 一時保育については、保育士の増員を含めた保育体制の充実を行いながら、一時預かり事業導入に向けて検討していきたい。



村政を問う

一般質問



渡部 節雄 議員

Q からむしの伊勢 神宮奉納の件

問 平成31年1月1日発行の広報しようわ新年特別号に、村を挙げて取り組むと書いてある。伊勢神宮に奉納するということは、名譽なことだが、なぜその公表の時期が今なのか、なぜ公社の単独事業でなくなったのか、そのプロセスを問う。
また、この事業の目的と効果を示せ

村長 平成28年8月に、昭和村からむし生産技術保存協会臨時総会で、関係者に振興公

社より説明を行い、平成28年第三回定例会の議会全員協議会で、説明を申し上げた。

昨年11月に伊勢神宮を訪問し、村民に限定した情報公開の内諾を得て周知をした。昭和村からむし生産技術保存協会、奥会津昭和村振興公社及び昭和村の三者が連携し、村を挙げて取り組むことが肝要である。今後からもむしに携わる人材の育成と、技術の研さんに力を入れて取り組んでいく。

問 どこに、どれだけの量の糸、布をいつ納めるのか。

奉納という言葉は新年特別号に書いてないが、何か政教分離という考え方に関係するのか。

村長 振興公社、からむし生産技術保存協会、村が三位一体となつてと申し上げたが、事業主体は、株式会社奥会津昭和村振興公社。詳しい内容は、一般における商業上の取引行為において適用される関連情報の守秘義務が課せられるもので答弁は差し控える。

問 伊勢神宮に奉納する場合、奉賛会との契約になると聞いている。奉賛会と契約した時点で、全部公表できるのか。三者一体でやるならばプロジェクトチームを作るのか。

村長 次期式年遷宮は、天皇陛下のご裁可

が出て、初めて正式に動き出すもの。ただ伊勢神宮に、奉納する内諾があったということからは、準備を進めなければならぬと考えている。具体的な内容は、振興公社が担当する。

問 資金面についてどう考えているのか。資金を隠して進んでいくことで、村民は了承するのか。

村長 村として、その交渉、契約の当事者ではないので、公表できない内容はない。

Q 人事方針について伺いたい

問 現在、異動の季節であり、いろんな役職の任期の切れる時期である。村長の人事方針を問う。

村長 人事の基本は、適材適所であると考えている。適正や経験を踏まえ公平公正な人事を行っていく。

問 村の経営の根幹は人事であり、人事の要は信賞必罰である。この信賞必罰について、村長の考えは。1月のしらかば会館の出火の処置も含めて伺う。

村長 職員が職務上の義務違反などを行った場合には、事実関係を調査した上で厳正な処分を行うことが基本。また良いことをした場合には褒めることも大事である。

しらかば会館の火災については、株式会社奥会津昭和村振興公社の就業規則に則って、関係職員に処分がなされたもの。なお、具体的な内容の公表は控える。

村政を問う

一般質問



馬場 政之 議員

Q 認知症サポーター養成講座を村職員や村民に普及推進を！

問 認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者です。今後の村づくりにおいて非常に重要なことで、希望者を募り、村職員の方、村民の方に普及推進が大切である。

村長 認知症サポーターは、これまでに25名の方々が特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク全国キャラバン・メイト連絡協議会が実施する認知症サポーター養成講座を受講している。

高齢化率が高い本村にあつては、認知症は重要な課題であると考えており、私を含め村の職員や多くの村民の方々に、認知症サポーター養成講座を受講し

ていただき、地域の中で認知症の方や、そのご家族を温かく見守っていただけるように努めてまいりたい。

Q イノシシの害が人間生活を脅かす。村としての対策を問う。

問 特に、甚大な被害は大芦集落に見受けられる。一晩に畦畔が掘り起こされ、水田の耕作も不可能となり、米づくりもやめるしかないなどの声がある。補助制度以外にも何らかの対策ができるのか問う。



村長 近年、本村を含む会津地方全域においてイノシシによる農業被害が増えてきている。本村も、昨年は特に被害が多く発生しており、大芦集落では、八反田地区、大新田地区、矢ノ原下地区で被害が多発している。

村では、新年度から出沒状況や被害状況の把握に努め、関係機関の協力を得ながら有害鳥獣捕獲実施隊員の研修会等を実施し、体制づくりを推進するとともに、集落ぐるみでの緩衝帯の整備を推進し、補助事業を活用した電気柵の設置や追い払い機材での被害防除もあわせて実施し、被害拡大の防止を図っていく。また、被害の大きい集落については、総合的な対策に取り組むモデル集落に設定し、地域ぐるみで対策支援を図っていく。

Q 喰丸小学校駐車場（外構整備事業）について

問 新たな購入地は、駐車場として利用せず、自然景観が保持できるように利用する考えは。

村長 今後多くのお客様にご来場していただく上では、駐車場を始めとする外構の整備は大切ではあるが、設計に当たっては、さまざまなご意見も伺いながら、建物の外観との調和や景観にできるだけ配慮しながら進めてまいりたい。



村政を問う

一般質問



東原 源伯 議員

Q 高齢者世帯の足の確保は、交通網の確立で

問 少子高齢化による購買力の低下と経営者の高齢化等で各集落にあった商店が激減している現状であり、また医療機関を利用する機会も頻繁です。買い物、通院等に、足の確保が課題となつている。この現状をどう考えているか伺う。

村長 村内各集落において、日用雑貨等を扱っていた商店が高齢化や後継者不足などに伴い、閉店を余儀なくさ

れているが、食料品等については、スーパーや個人による移動販売により、ある程度は確保されているものと思われる。村内の移動についても、国保診療所は、各地区ごとに、無料送迎バスを運行し、さらに、路線バスとの接続のため、大芦地区や小野川地区を結ぶ連絡送迎車を運行し、交通の便を確保している。しかし、自家用車を保有していない方は、

公共交通機関やタクシー、近隣の方や親戚の方々の車に同乗して移動されているのが現実ではないかと捉えている。

問 長野県の諏訪町で実証されている制度で地元のタクシーと、JT Bが一定区間日中乗り放題と。病院、スーパー等にいったりすることができると。その車には近親者が同乗できるという内容になっている。このようなことも、導入や研究はできないか伺う。

村長 タクシーの定期券等については、本年度、国土交通省が実証実験を行っている。

これは、過疎地で路線バスや鉄道が廃止され、高齢者の交通手段の確保が大きな社会問題となっていることから、解決手段の一つと

して定額タクシーの導入を検討しているもの。村としては、新たな移動手段になるのではないかと、実証実験の結果を注目している。

なお、長野の件についてはJT Bが関わっており、いわゆる旅行商品としての事業ではないかと考えている。

Q 村民の健康寿命は、お達者度の活用から

問 福島県では、65歳から健康に過ごせる期間を市町村別に算出し、健康寿命の指標、お達者度を公表した。この基礎データをどのように活用するのか伺う。

村長 国が進める健康日本21は、評価の指標の一つとして、定期的に健康寿命を算定し、公表している。



昭和村は健康な期間が65歳余命に占める割合は高い数値を示しており、これまで行ってきた生きがいづくりや健診等の保健事業、介護予防事業等が健康寿命の延伸につながっているものと考えており、さらに力を入れていきたい。

平成31年度昭和村一般会計予算 19億4717万円で成立

平成31年度昭和村当初予算額一覧（会計別）

会 計 の 名 前		本年度の額	前年度の額	比 較 増 減
一 般 会 計		19億4717万円	20億8550万円	△1億3833万円
国民健康保険特別会計	事 業 勘 定	1億8364万円	1億9323万円	△959万円
	施 設 勘 定	1億2206万円	1億2853万円	△647万円
介護保険特別会計	保険事業勘定	3億7483万円	3億8012万円	△529万円
後期高齢者医療特別会計		2353万円	2436万円	△83万円
簡易水道事業特別会計		1億2498万円	1億9785万円	△7287万円
下水道事業特別会計		6112万円	5798万円	314万円
農業集落排水事業特別会計		5209万円	5284万円	△75万円
合併浄化槽事業特別会計		453万円	479万円	△26万円

〈※千円以下四捨五入のため、「広報しょうわ5月号」と金額が合わない場合があります。〉



詳細は「広報しょうわ5月号」に掲載されていますので
いっしょにご覧ください。

一般会計の概略

歳入

◎地方交付税

新たな単位費用に基づく算出と、例年の交付実績を鑑み、前年度より2.8%減の10億5千万円を計上した。

◎繰入金(貯金取り崩し)

一般財源を補うための目的基金を4億3千687万円取り崩す。

◎村債(借金)

将来の安定的な財政運営に配慮し、国から1億1千086万円を借りる計画です。

歳出

◎村民の活力向上

地域づくり応援事業や夢見る若者応援事業などを継続して実施します。

◎観光交流促進対策

観光振興のため、観光

協会の体制強化を支援します。

◎子育て支援対策

4月より保育料を無償化し保護者の経済的負担の軽減を図ります。

◎定住対策

カスミソウの栽培指導講習会や機械設備の支援など生産拡大に取り組みよう支援します。

◎保健・医療対策

施設検診として胃内視鏡検査を導入し胃がんの早期発見治療につなげます。

◎村民の安全安心

空き家解体費用助成を行い危険な空き家の解体を支援します。

主な質疑

観光交流促進対策

問 村観光協会の旅行業について、収益を上げるのは難しいのではないかと。

答 観光協会の中では地域限定型の旅行業の取得を目指しており、地域限定のツアーのため大きな収益は難しいと考えている。

問 からむし織の里裏山景観整備事業の内容は。

答 平成31年度に植栽する樹木等や植栽場所の測量設計などを行い、平成32年度に整備する計画である。

問 喰丸小のイベントはどのようなイベントを年何回やるのか。

答 喰丸小開所一周年記念として喰丸小バザー、ガラクタ音楽祭、喰丸小フォトアワード、手仕事マルシェ、喰丸小芸術祭、喰丸小大イ

チヨウイルミネーションなどを計画している。

問 ツアーバスは何社に年何回委託するのか。

答 喰丸小冬イベントにかかるツアーバス、喰丸小を活用した魅力発信事業の農家に恋する恋活事業の首都圏発着バスの2事業となっている。

子育て支援対策

問 地域型保育給付事業は今年度は発生しないのか。

答 国庫補助金が子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金となり、旅費と研修費にかかる部分が計上されている。

農業対策

問 ライスセンター改修負担金は施設の改修計画によるものか。

答 乾燥調製施設等の改修で平成35年度まで負担する。

学校施設の充実

問 外国語指導助手を村単独で雇用することは可能なのか。

答 金山町との共同招致が8月で切れるため、村単独での雇用となる。

生活基盤対策

問 昭和村除雪オペレーター育成事業補助金の具体的な計画は。

答 村内事業所、役場直営オペレーターの養成支援として、大型特殊免許の取得にかかる経費の2分の1を助成する計画。

問 地域おこし協力隊の経費の中身は。

答 地域おこし協力隊は8名を見込んでおり、現在5名勤務しているため、3名の追加募集をしていく計画。



第1回議会臨時会

2月12日に第1回議会臨時会が開かれました。議決結果は以下の通りです。

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例では、本年1月18日に発生した多目的研修施設しらかば会館の失火に伴う指導・監督の責任により2ヶ月間給与月額10%の減額をするもの。

議 案 名	議決結果	賛成	反対
村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	8	
平成30年度昭和村一般会計補正予算（第6号）	可決	8	

議案の審議

議案の議決結果

3月定例会で審議した議案と、その議決結果です。(審議した順番に掲載。)

議 案 名	議決 結果	賛 成	反 対
昭和村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	8	
村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	8	
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	8	
昭和村税条例の一部を改正する条例	可決	8	
昭和村公の施設の指定管理者の指定について	可決	8	
昭和村道路線の認定について	可決	8	
昭和村道路線の変更について	可決	8	
平成31年度昭和村一般会計予算	可決	7	1
平成31年度昭和村国民健康保険特別会計予算	可決	8	
平成31年度昭和村簡易水道事業特別会計予算	可決	8	
平成31年度昭和村下水道事業特別会計予算	可決	8	
平成31年度昭和村農業集落排水事業特別会計予算	可決	8	
平成31年度昭和村合併浄化槽事業特別会計予算	可決	8	
平成31年度昭和村介護保険特別会計予算	可決	8	
平成31年度昭和村後期高齢者医療特別会計予算	可決	8	
平成30年度昭和村一般会計補正予算(第7号)	可決	8	
平成30年度昭和村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	8	
平成30年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	8	
平成30年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決	8	
有限会社グリーンファームの経営状況の報告について	-	-	

※ 議長は採決に加わりません。

借金(村債)の残高は → 16億1156万円に

村は予算を作るときに、税金や国県の補助金、貯金取崩しだけでは財源が不足しますから、国などから借金をすることがあります。これを村債といいます。

今年度は1億1086万円を国から借りる予定で、その結果、一般会計の借金残高は、平成32年3月末で16億1156万円になる見込みです。

なお、借金は毎年返済し、今年度の返済金額は利子を含めて1億9068万円です。

議案の審議

『平成31年度一般会計予算討論の要旨』

【反対討論】

私は、3つの理由により予算案に反対します。1つは、喰丸小学校の駐車場拡大の必要性が理解できません。現状の駐車場を舗装し、道路を拡張することと十分対応できるのではないかと考えます。

2つ目、観光協会の補助についてです。昨年の予算審議時の説明と違ってきております。収益事業がまだ明確になっていないまま、この金額で続くということについては、おかしいと考えます。

3つ目、伊勢神宮奉納の件で守秘義務を盾に一つとして回答されなかった。からむしの新商品をつくり上げ、それを市場に出し、商業ベースに乗つけるという構想を言われた。

多大な投資を要すると考えられる事業を、議会のコンセンサスを得ないまま推し進めるのは、独断専行に過ぎるのではないかと。

金は出せ、口は出すなともとれる、その態度の第三セクターの組織に多額の税金を注入し続けるような予算案は承認できません

【賛成討論】

歳入の多くを地方交付税に依存している小規模自治体は、引き続き厳しい財政運営を余儀なくされている。こうした状況の中で、住民生活の基盤となるインフラ整備の早期完成に向けての継続事業や、事務事業の見直しによる経費の節減に努めており、目的基金の有効活用により、必要な財源の確保に努めている。

具体的な予算編成で

は、日本で最も美しい村連合加入に向けての取り組みや、空き家住宅解体に要する補助金の拡大、また、ラジオ放送の整備に向け村内全域で受信できる放送設備の整備も進めている。

地域づくり応援事業や夢見る若者応援事業を継続し、主体的な地域活動の支援を行い、さらに昭和村の魅力を発信し、婚活に結びつける新たな事業も企画している。また、からむしに携わる後継者の育成と、人材の育成のための処遇改善の予算も計上している。

総合健診では、歯科検診を新たな検査項目に加え、施設健診では、内視鏡検査を導入している。さらに、地域福祉計画を策定し、安心して暮らせる地域社会に向けて取り組んでいる。すみれ荘内

に、エアコンを設置し、利用者の暑さ対策を進めており、昭和ホームの空調設備の改修補助金も計上している。

学校教育については、小学校の複式学級を解消する講師3名を配置し、引き続き英語指導助手も配置する。

小規模校の特色を生かし小中学校の連携教育を推進するほか、天栄村での英語研修の実施や、夏休みを利用してのサマースクールを継続し、学力向上と豊かな人間性を育む授業が盛り込まれている。

4月から保育所の無料化を実施し、保育所の一時保育も検討するとしている。

除雪オペレーターを確保するため、オペレーター免許取得に対する助成措置を行い、安心安全な冬期間の交通を確保する。

花卉については、機

械や設備の導入の補助を継続し、新規農業参入推進事業や、実り豊かな産地整備事業、矢ノ原給水ポンプの修繕と矢ノ原地内の農道の一部舗装を行い、農業の生産性を向上させる取り組みとなっている。

観光交流の推進については、喰丸小を拠点とし、一周年記念事業を初め、本村の魅力を発信する事業が盛り込まれている。

以上、重点的に取り組むべき課題に対応した効果的な予算編成になっていると判断し、平成31年度一般会計予算案に賛成いたします。



議会活動の報告

諸般の報告

■ 1月

4日 新春懇談会

10日 両沼議長会新年
行政懇談会

17日 県道柳津昭和
線・滝谷檜原線
整備促進期成同
盟会、県道小林
会津宮下停車場
線「美女峠」改
良促進期成同盟
会合同福島県要
望

25日 昭和村交通安全
合同祈願祭

27日 第49回昭和郷友
会新年会

31日 議会だより編集
会議

■ 2月

14日 会津総合開発協
議会「会津を拓
く講演会」

19日 平成31年度予算
内示会

20日 県議長会第2回
定期総会

24日 第34回からむし
織の里雪まつり

28日 保育所修了式
草加市「漸草庵
百代の过客」竣
工式

■ 3月

1日 県立川口高等学
校卒業式

13日 昭和中学校卒業
証書授与式

15日 からむし織体験
25期生終了会

18日

会津坂下警察署
幹部職員送別会

22日 昭和小学校卒業
式

25日 国道401号道
路改良整備福島
県要望

26日 教育委員会・村
PTA連絡協議
会合同送別会

28日 保育所修了式
草加市「漸草庵
百代の过客」竣
工式



● 令和元年第2回定例会のお知らせ ●

令和元年第2回定例会は、6月7日から11日までの日程で予定されています。

一般質問は10日の予定です。

お誘い合わせのうえ、ぜひ傍聴においでください。

編集後記

裏山から、ウグイスの初鳴きがさわやかに聞こえる季節となりました。

さて、昨年は、戦後一番の暑ツーい夏を過ごしたことから、中小学校の環境整備の充実が図られることが決まりました。各学校の教室・音楽室・理科室などの冷房設備が完備され、児童生徒達が、快適な室温のもとで授業が行われます。将来村を託する子供達の学力向上が大いに期待されます。
(東原源伯)

編集委員

委員長 青木 秀元
副委員長 馬場 政之
委員 東原 源伯
菅家 敏章